



防災マニュアル

令和6年5月作成



岩沼市立岩沼小学校
〒989-2432
宮城県岩沼市中央二丁目1番1号
電話 0223-22-2145
FAX 0223-22-2146
E-mail chief1@iwasho.iwanuma-ed.jp

I 計 画 と 体 制	1 学校防災全体計画	1
	2 年間計画	2
	3 災害特性と防災対策の把握(避難経路)	3
	4 教職員の動員体制	6
	5 校内災害対策本部組織	9
	6 情報連絡体制図	11

II 災 害 発 生 時 の 対 応	1 大地震・津波発生時の対応	
	(1) 在校時	12
	(2) 登下校時	13
	(3) 各学年の担当地区と指定地点	14
	(4) 学校管理下外(安否確認)	14
	(5) 在宅時(夜間・休日)	15
	2 気象災害が想定される場合の対応	
	(1) 防災気象情報について	16
	(2) 大雨時の対応判断基準(児童在校中)	17
	(3) 阿武隈川河川氾濫情報・洪水予報発表時の判断	17
	(4) 垂直避難経路	18
	3 竜巻が想定される場合の対応	19
	4 火山災害が想定される場合の対応	
	(1) 蔵王山の噴火警戒レベルと対応	20
	(2) 児童在校時の対応	21
	(3) 蔵王宿泊学習中に噴火警報発表の場合の対応	21

III 災 害 発 生 後 の 対 応	1 災害発生時の対応	
	(1) 児童在校中の対応と判断基準	22
	(2) 保護者への引き渡し	22
	2 学校再開に向けた対応	24

IV 資 料	1 保護者への周知事項	25～27
--------------	-------------	-------

I-1 学校防災全体計画



I-2 年間計画

月	防災管理	組織活動	防災教育(防災学習・防災指導)					
	関連行事		教科	道徳	総合的な学習	学級活動	学校行事	その他
4	・安全点検 ・職員通学路安全点検 ・岩沼市防災連絡協議会		3年生社会 「市の様子災害時の避難場所をさがす」	5年生「ありがとう上手」に			入学式 地震避難訓練	全校防災学習「学校にいるときにじしんがおこったら」
5	・安全点検 ・職員研修(救命救急講習会) ・学校安全指導者研修会 ・岩沼市学校危機管理委員会		6年生社会 「震災復興の願いを実現する社会」				運動会	「ぼうさい個人マニュアル」配付
6	・安全点検 ・岩沼市総合防災訓練担当者打合せ ・岩沼市危機管理課職員防災倉庫点検		6年生国語 「防災ポスターを作ろう」	6年生「土石流の中で救われた命」		1～5年生「地震が来たら」 6年生「地震被害にあわないために」	第1回火災避難訓練 6年生 震災遺構荒浜小学校見学	全校防災学習「火事について学ぼう」 「岩小防災メール」連絡訓練(児童引き渡し・安否確認)
7	・安全点検 ・PTA通学路安全点検 ・岩沼市総合防災訓練				6年生「避難所体験学習」		竜巻避難訓練 防災学習 ・竜巻の仕組みを知ろう。	全校防災学習「竜巻について知ろう」
8	「学校における安全点検要項」活用研修会 本校会場 ・安全点検 ・職員通学路点検 ・安全点検講習伝講会				4年生「岩沼の防災の歴史を知ろう」			
9	・岩沼市学校危機管理委員会 ・安全点検		4年生社会 「風水害から暮らしを守る」		4年生「岩沼の防災の歴史を知ろう」		大雨洪水避難訓練, 引き渡し訓練 第2回 火災避難訓練	全校防災学習「風水害における避難」
10	・安全点検 ・防災主任研修会 ・岩沼市役所危機管理課防災備蓄食料点検		5年生理科 「台風と気候の変化」 6年生理科 「地震や火山の噴火と大地の変化」		4年生「岩沼の防災の歴史を知ろう」 3年生 消防署見学			
11	・安全点検		5年生理科 「わたしたちのくらしと災害」	4年生「ふるさとを守った大イチョウ」	6年生防災学習「避難所体験」 5年生「救命救急講習」 4年生「岩沼の防災の歴史を知ろう」		音楽発表会	
12	・安全点検		3年生社会 「まちの消防しせつをさがそう」				第2回地震避難訓練	
1	・安全点検							
2	・安全点検 ・岩沼市学校危機管理委員会		5年生社会 「自然災害を防ぐ」	6年生「人々のために尽くす」 5年生「一本松は語った」				
3	・安全点検 みやぎ鎮魂の日		6年生保健 「自然災害によるけがの防止」				卒業式	全校防災学習「東日本大震災」

I-3 災害特性と防災対策の把握

■学校周辺の災害特性の把握

過去の地震の記録(震度5以上)					
発生日時			震央地	観測点	震度
2022/3/16	水	23:36	福島県沖 M7.4	岩沼市桜	6弱
2021/5/1	土	10:27	宮城県沖 M6.8	岩沼市桜	5弱
2021/3/20	土	18:09	宮城県沖 M6.9	岩沼市桜	5強
2017/2/28	火	16:49	福島県沖 M5.7	岩沼市桜	5弱
2011/4/11	月	17:16	福島県浜通り M7.0	岩沼市桜	5弱
2011/4/7	木	23:32	宮城県沖 M7.2	岩沼市桜	6弱
2011/3/11	金	16:28	岩手県沖 M6.6	岩沼市桜	5弱
2011/3/11	金	14:46	三陸沖 M9.0	岩沼市桜	6弱
2008/7/24	木	0:26	岩手県沿岸北部 M6.8	岩沼市桜	5弱
2008/6/14	土	8:43	岩手県内陸南部 M7.2	岩沼市桜	5弱
2005/8/16	火	11:46	宮城県沖 M7.2	岩沼市桜	5弱

基本情報					
学校の標高	3.7m	海岸からの最短距離	5.8km		
校舎の階数	本校舎 3階	屋上の有無	本校舎 有	避難所の指定	有
	北校舎 3階		北校舎 有	対象の災害	地震、洪水
ハザードマップ想定					
大雨による洪水被害想定 (平成28年6月国土交通省公表)					
阿武隈川流域に2日間で総雨量316mmとなる大雨(約1,000年に1回の割合で降る雨)により、阿武隈川の堤防が決壊した場合。					
対象となる川	阿武隈川	阿武隈川からの最短距離			1.5km
学校の浸水深	3m	その他の情報	学校及び周辺が低地である。		
主な場所の標高					
岩沼駅	3.2m	市民図書館	3.5m	岩沼郵便局	2.9m
岩沼北中	3.2m	岩沼市役所	3.2m	岩沼消防署	3.7m
岩沼警察署	3.8m	相の原郵便局	2.8m	北児童センター	3.0m
竹駒神社	3.7m~17m	名取高校	12.2m	岩沼西小学校	7.4m

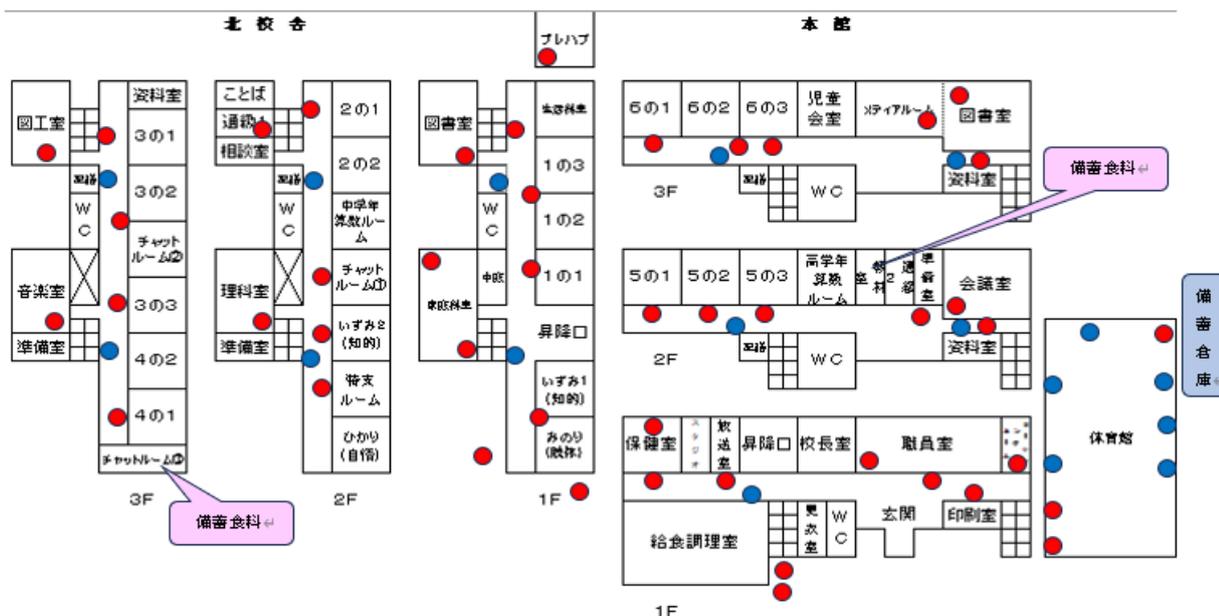
■学校の防災対策の把握

学校外の避難場所							
災害想定:大雨・洪水							
第1避難場所	名取高校	標高	12.2m	道のり	1.1km	所要時間	23分
第2避難場所	岩沼西小	標高	7.4m	道のり	1.5km	所要時間	30分
災害想定:地震により校舎被災							
第1避難場所	市民図書館	道のり	0.2km	避難スペース	1F展示室,2Fセミナールーム		
第2避難場所	岩沼市役所	道のり	0.9km	避難スペース	6F会議室		

■防災設備, 避難経路図

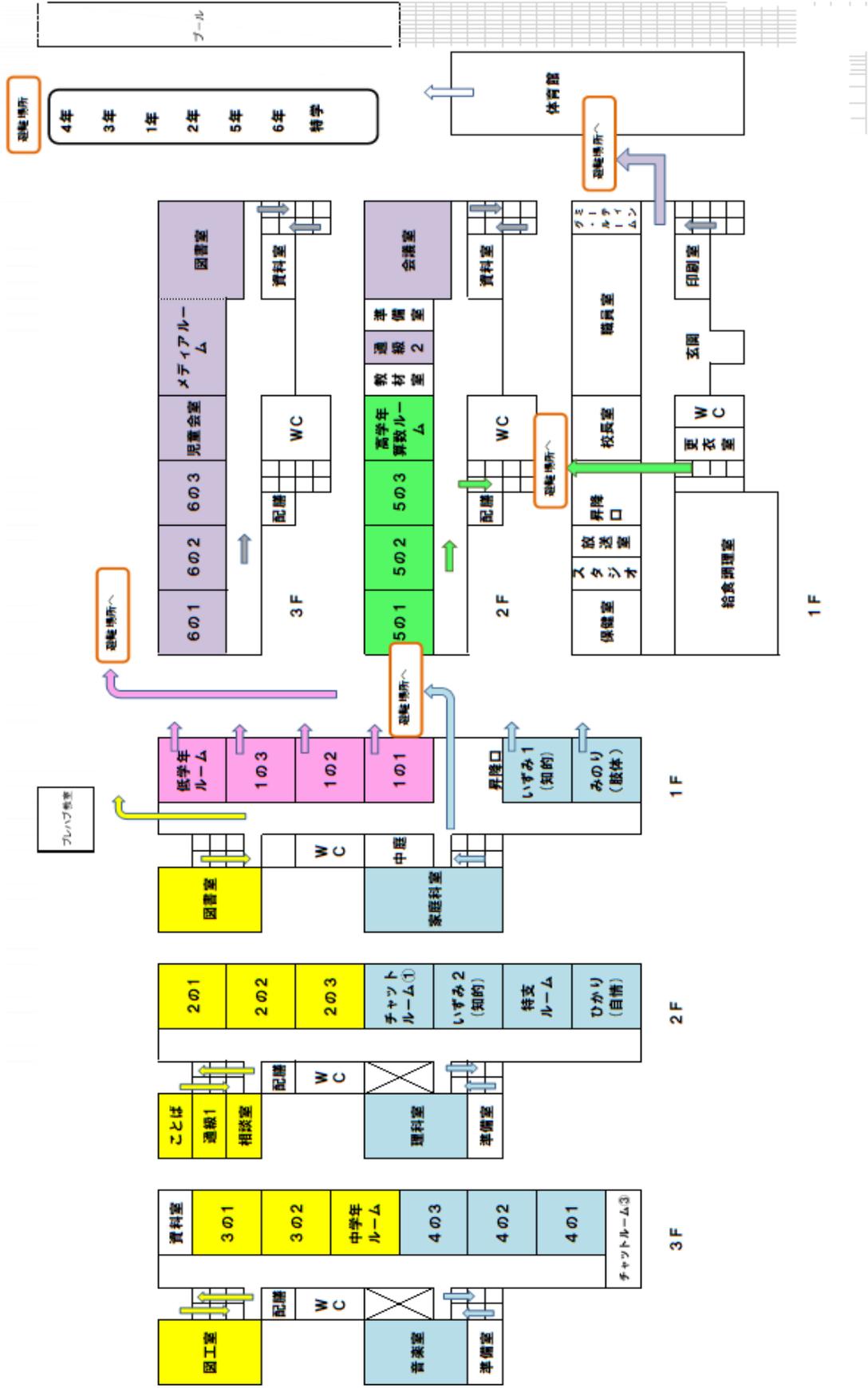
防災設備設置場所

岩沼小学校 防災設備設置場所(令和5年9月) ●消火器 ●火災報知器



避難経路

避難経路1



I-4 教職員の動員体制

(1) 警戒配備(0号配備)

配備発令規準	<ul style="list-style-type: none"> ○市内に大雨、洪水又は高潮(以下「大雨等」という。)の警報発令。 ○市内で震度4の地震観測。 ○市内に大雨等の注意報発表、かつ被害の発生が予想されるとき、又は被害が発生したとき。 ○その他 特に教育長が必要と認めたとき。
本部設置	●本部設置なし

(2) 特別警戒配備(1号配備)

配備発令規準	<ul style="list-style-type: none"> ○宮城県に津波注意報が発表。 ○市内で震度5弱の地震発生。 ○市内で震度4の地震観測し、被害発生したとき。 ○北海道・三陸沖後発地震注意報が発信されたとき。 ○蔵王山に噴火速報、噴火警報が発表されたとき。 ○市内で台風による災害が予想されるとき。 ○市内に大雨等の警報が発表され、かつ広範囲にわたる災害の発生が予想されるとき又は被害が発生したとき。 ○その他 特に教育長が必要と認めたとき。
本部設置	●警戒本部設置(安全確保、誘導避難、情報収集、連絡活動、応急対策)

本部(校長、教頭、主幹教諭)		防災主任		教職員	
勤務時間内	勤務時間外	勤務時間内	勤務時間外	勤務時間内	勤務時間外
<ul style="list-style-type: none"> ・直ちに配備につく。 ・地震:児童の安全確認、施設破損状況を確認させる。 ・津波:各種情報を確認し、待機、避難を迅速に判断する。 ・風水害等:気象、避難情報等を確認し、待機や引き渡しを含めた安全対策を検討する。 ・教育委員会へ報告。 	<ul style="list-style-type: none"> ・直ちに学校での配備につく。 ・災害の情報、状況を確認し、必要に応じた対応を指示する。 ・児童の安全確認 ・施設破損状況の確認 ・登校の判断等 ・教育委員会へ報告。 	<ul style="list-style-type: none"> ・直ちに配備につく ・待機、避難を指示する。(放送等) ・情報を収集する。 ・気象情報警報 ・氾濫警戒情報等 ・本部会議で確認した内容を教職員に周知徹底する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・直ちに学校での配備につく。 ・情報を収集する。 ・気象情報警報 ・氾濫警戒情報等 ・本部会議で確認した内容を教職員に周知徹底する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・あらかじめ定められた教職員は直ちに配備につく ・配備職員以外は、業務の補助をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 副教務、岩沼市在住の職員は直ちに配備につく ・配備職員以外は、自宅等で本部の連絡を待つ。

(3) 特別警戒配備(2号配備)

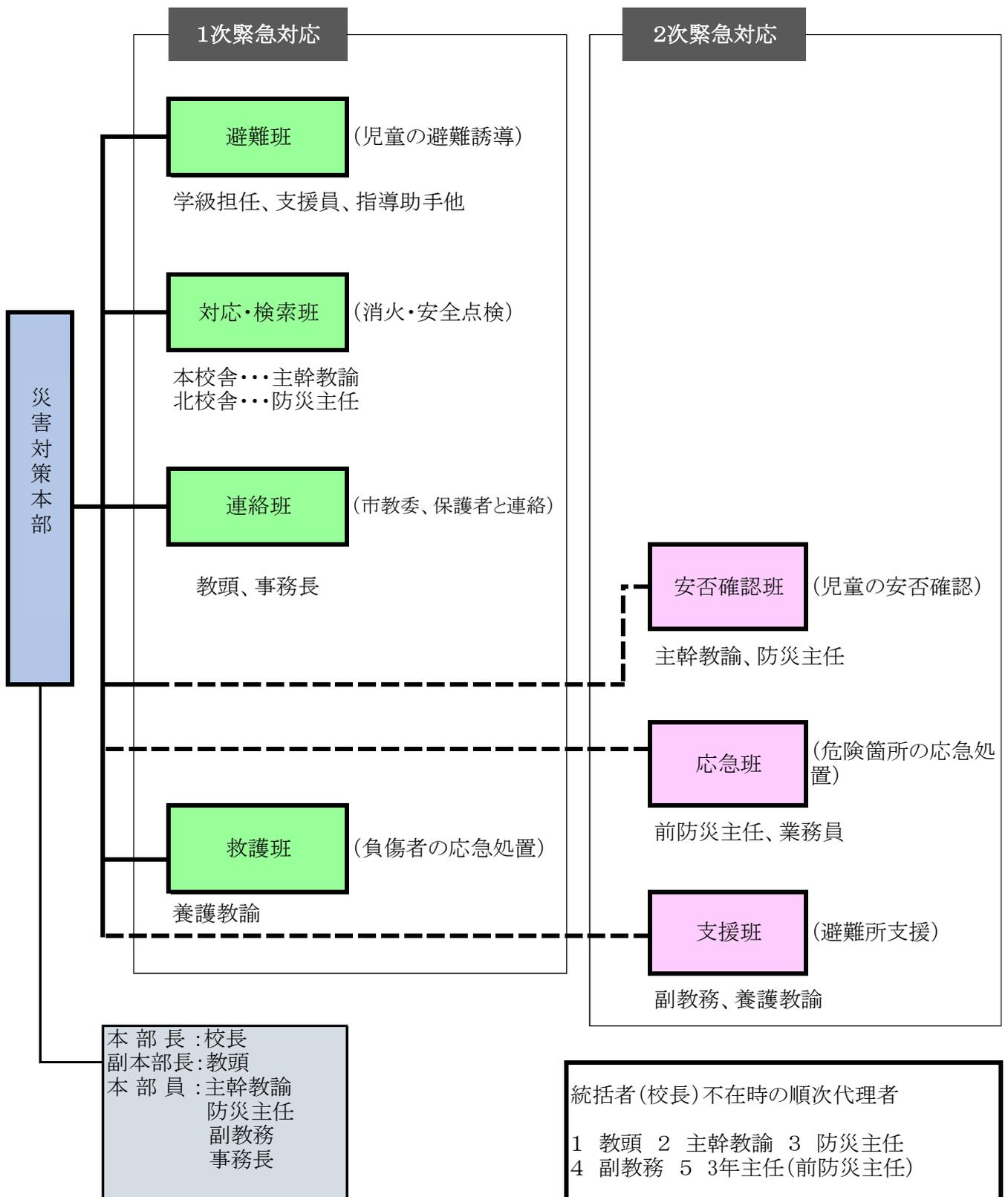
配備発令基準	○宮城県に津波警報が発表。 ○市内で震度5強の地震発生。 ○その他 特に教育長が必要と認めたとき。				
本部設置	●特別警戒本部設置(安全確保、避難誘導、情報収集、連絡活動、応急対策)				
本部(校長、教頭、主幹教諭)		防災主任		教職員	
勤務時間内	勤務時間外	勤務時間内	勤務時間外	勤務時間内	勤務時間外
・直ちに配備につく。 地震:迅速に避難誘導させる。 津波:各種情報を確認し、迅速に高台へ避難させる。 ・避難者の対応 ・教育委員会、危機管理課へ報告	・直ちに学校での配備につく。 ・災害の情報、状況を確認し、必要に応じた対応を指示する。 児童の安全確認 施設破損状況の確認 登校の判断等 ・教育委員会へ報告。	・直ちに配備につく。 ・一時避難場所の安全確認をし避難の指示をする。 ・情報収集する。(警報、被害状況等) ・本部長の指示で二次、三次避難場所への避難を指示する。 全職員の業務を適格に指示し迅速に対応できるようにする。	・直ちに学校での配備につく。 ・本部長の指示を受けた内容を全職員に周知する。 児童の安否確認 登校判断 避難してきた地域の方への対応をする。	・あらかじめ定められた教職員は配備につく。	・あらかじめ定められた教職員は学校での配備につく。 ・配備職員以外は、自宅等で本部の連絡を待つ。 ※校長が必要と認めた場合は、全教職員が配備につく。 ・防災主任から指示を受け、担当業務に当たる。

(4) 非常配備 (3号配備)

配備発令基準	<ul style="list-style-type: none"> ○県内で震度6強以上の地震発生。 ○特別警報(各種)が県内に発表。 ○岩沼市が緊急安全確保措置を指示したとき。 ○宮城県災害対策本部が設置されたとき。 				
本部設置	●特別警戒本部設置(安全確保、避難誘導、情報収集、連絡活動、応急対策)				
本部(校長、教頭、主幹教諭)		防災主任		教職員	
勤務時間内	勤務時間外	勤務時間内	勤務時間外	勤務時間内	勤務時間外
<ul style="list-style-type: none"> ・直ちに配備につく。 地震:迅速に避難誘導させる。 津波:各種情報を確認し、迅速に高台へ避難させる。 ・避難者の対応 ・教育委員会、危機管理課へ報告 	<ul style="list-style-type: none"> ・直ちに学校での配備につく。 ・災害の情報、状況を確認し、必要に応じた対応を指示する。 児童の安全確認 施設破損状況の確認 登校の判断等 ・教育委員会へ報告。 	<ul style="list-style-type: none"> ・直ちに配備につく。 ・一時避難場所の安全確認をし避難の指示をする。 ・情報収集する。(警報、被害状況等) ・本部長の指示で二次、三次避難場所への避難を指示する。 全職員の業務を適格に指示し迅速に対応できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・直ちに学校での配備につく。 ・本部長の指示を受けた内容を全職員に周知する。 児童の安否確認 登校判断 ・本部長の指示を受け、避難所開設準備をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員が直ちに配備につく。 ・防災主任からの指示を受け、担当業務に当たる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員が直ちに配備につく。 ・防災主任からの指示を受け、担当業務に当たる。 ・自身及び家族の安全確保を最優先する。 ・出勤経路上の安全を確保できない場合は、学校での配備につく必要はない。

I - 5 校内災害本部組織と業務内容

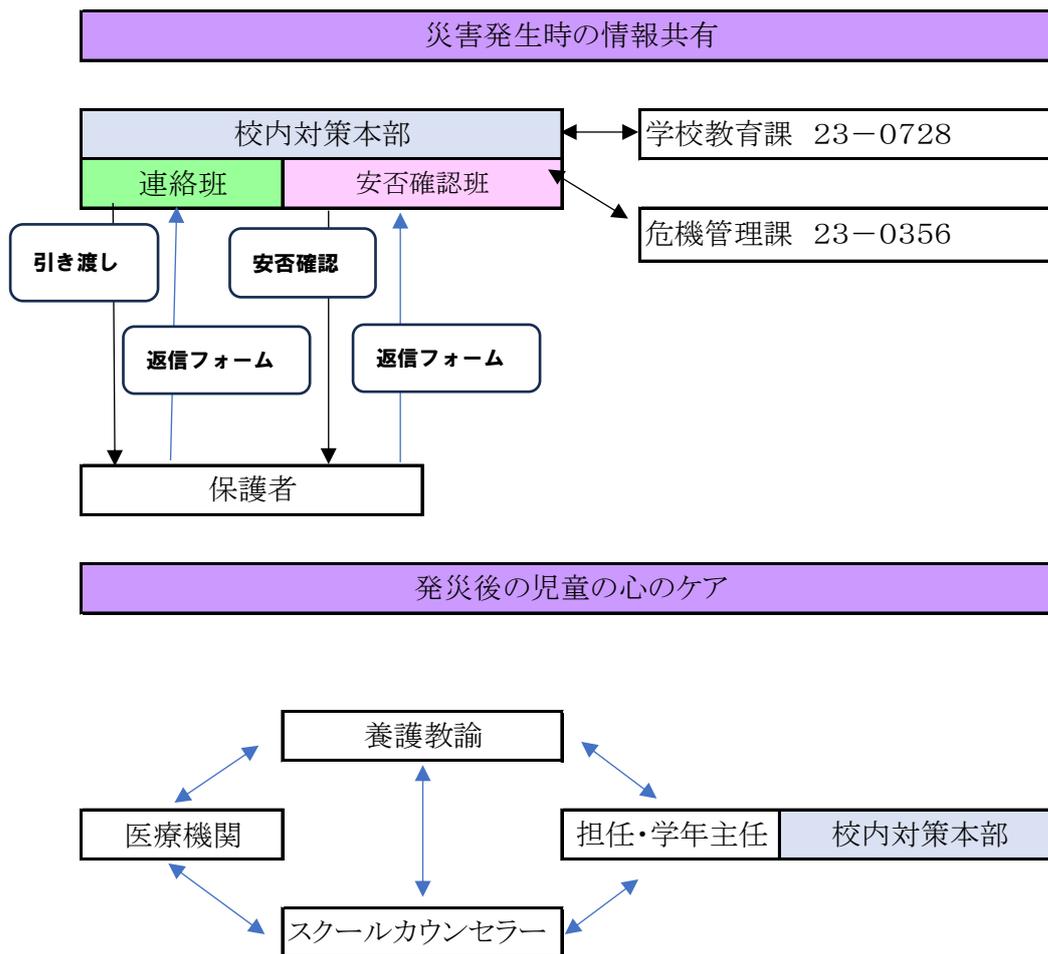
(1) 基本編成図



(2)各班の業務内容

班名	業務内容	必要物品	
一次緊急対応	災害対策本部 校長・教頭・主幹教諭・防災主任	○校内放送による連絡や指示 ○対応の決定 ○市教委等との連絡調整 ○情報収集 ○非常持ち出し品の搬出(事務長)	拡声器、ホイッスル トランシーバー、ラジオ 懐中電灯、乾電池各種 点呼表、持ち出し品 ・児童名簿、耐火金庫鍵
	避難班 学級担任、副担任、指導助手、支援員、図書司書	○発災直後の児童の安全確保 ○本部から指示された避難場所への誘導 ○避難状況を本部へ報告 担任→学年主任→教頭→校長	
	対応・検索班 主幹教諭・防災主任	○避難誘導、救護 ○初期消火 ○被害状況の確認 ○避難支援 ○全校児童の避難確認	トランシーバー
	連絡班 教頭・事務長	○防災メール送信 ○保護者からの安否情報の整理	各学級の「ぼうさい個人マニュアル」
	救護班 養護教諭	○負傷者の応急手当 ○負傷者の搬送要請通報	救急バッグ
二次緊急対応	安否確認班 主幹教諭・防災主任	○安否確認メール送信 ○保護者からの返信フォームの集計 ○連絡不通児童の家庭訪問調整 ○連絡不通児童のための避難所確認班の編制	児童名簿(チェック用) 学区地図 地区名簿 防災マップ
	応急復旧班 前防災主任・業務員	○被害状況の確認・報告 ○ライフライン被害状況の把握と報告 ○危険箇所の応急処置 ○「立ち入り禁止」「使用禁止」等の表示	カメラ とらロープ、杭、ハンマー
	避難所支援班 副教務・養護教諭	○危機管理課と連携して、支援を行う。 ○病人、妊婦、要介護者等への個室(教室)準備の打合せ ○避難所内救護所の支援	防災倉庫扉鍵 安全ビブス(青・オレンジ)

I-6 情報連絡体制図



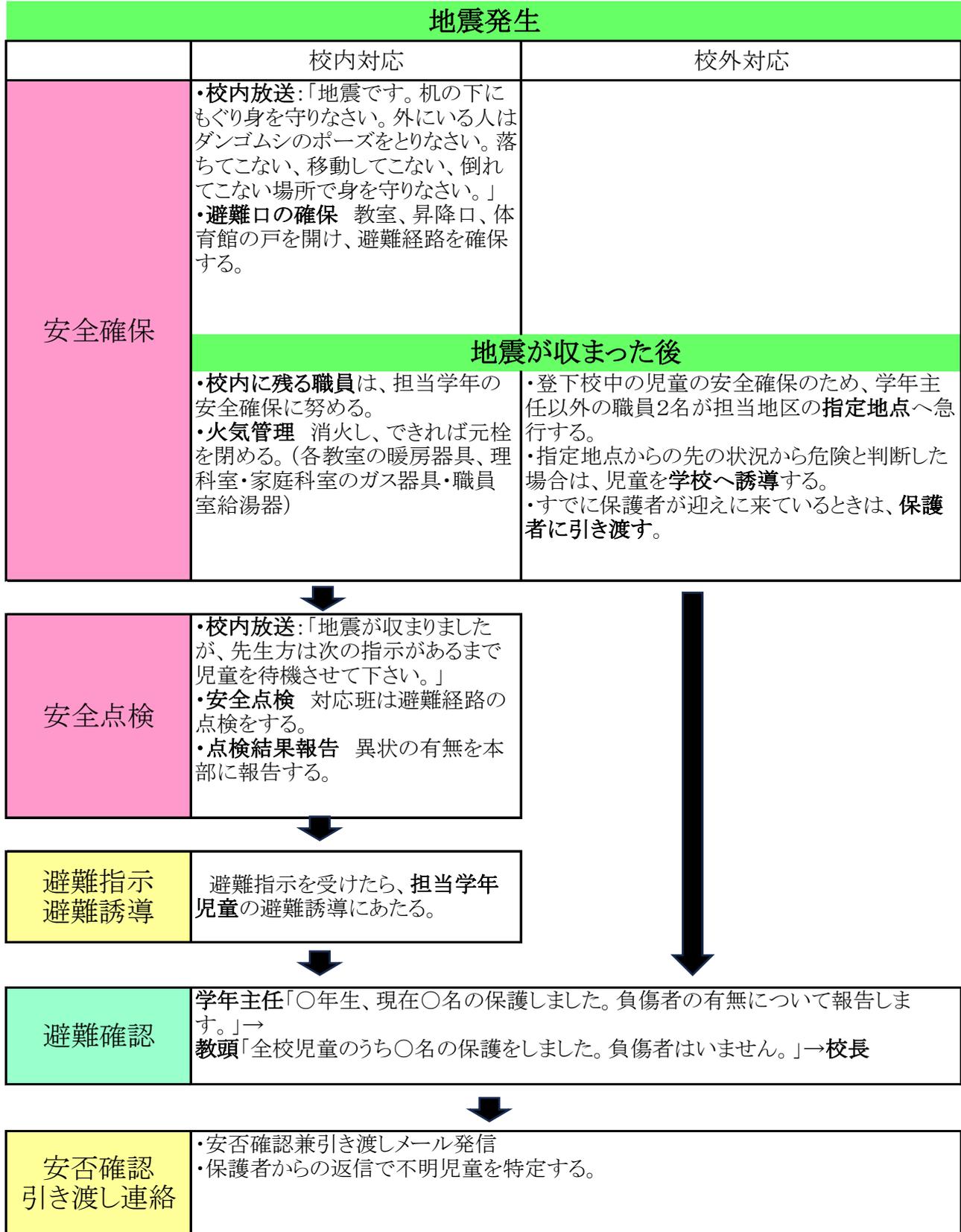
岩沼小学校関係機関・関係者		
学校教育課	23-0728	岩沼市桜1丁目6-20(岩沼市役所)
危機管理課	23-0356	
岩沼警察署	22-4341	岩沼市末広2丁目1-23
岩沼消防署	22-5172	岩沼市末広1丁目6-32
櫻井防災	022-231-8533	仙台市若林区卸町1丁目6-6
保健センター	22-2754	岩沼市桜2丁目8-30
PTA会長	090-7667-9553	
南東北病院	23-3151	岩沼市里の杜1丁目2-5
山本クリニック	22-2630	岩沼市中央1丁目3-12
森整形外科クリニック	22-1311	岩沼市桜1丁目1-11
いたのこどもクリニック	29-4158	岩沼市恵み野1丁目7-6
北児童センター	22-2857	岩沼市相の原1丁目3-49

Ⅱ-1 大地震・津波発生時の対応

(1) 在校時



(2) 登下校時



(3) 各学年の担当地区と指定地点

学年	指定地点	所要時間	道のり
1年	ローソン岩沼中央三丁目店	4分	300m
2年	ドラッグセイムス岩沼館下店	4分	270m
4年	つるや	3分	170m
5年	かめや	3分	200m
6年	セブンイレブン岩沼桜4丁目店	9分	600m
特学	ファミリーマート岩沼中央四丁目店	9分	650m

通学路を通り、指定地点を目指してまで行く。

(4) 学校管理下外(安否確認)

	方法	内容
1	Eメール	学校から「岩小防災メール2(安否確認)」を送信する。保護者は「安否確認フォーム」で児童の情報を学校に返信する。
2	電話	担任が自宅や保護者の携帯電話にかける。
3	家庭訪問	本校職員が担当の地区の家庭を訪問する。
4	避難所訪問	本校職員が担当の避難所を訪問する。

「災害用伝言ダイヤル」について
 災害用伝言ダイヤルの設置主旨
家族や知人との間での安否の確認や避難場所の連絡等をスムーズに行うため、固定電話・携帯電話・インターネットによって、「災害用伝言サービス」を提供してる。(総務省ホームページより)
 以上の設置主旨に沿い、学校での活用は控えることにした。

安否確認家庭訪問担当

1年	1、2地区	5年	7、8地区
2年	3地区	6年	9、10、11地区
3年	4地区	特学	12地区、学区外
4年	5、6地区		

(5) 在宅時(夜間・休日)

災害対策本部設置	動員体制 災害規模	本部設置	配備職員
	警戒配備(0号配備) 震度4、大雨警報	本部設置なし	
	特別警戒配備(1号配備) 震度5弱、津波注意報、 噴火速報発表	警戒本部設置	校長、教頭、主幹教諭、防災主任、岩沼市在住職員
	特別警戒配備(2号配備) 震度5強、津波警報	特別警戒本部設置	校長、教頭、主幹教諭、防災主任、岩沼市在住職員 ※校長が必要と認めた場合は全員配備
	非常配備(3号配備) 震度6強以上、特別警報 (各種)、	特別警戒本部設置	全職員配備 ※ただし、自身及び家族の安全確保を最優先する。



安否確認	教頭 ・防災メール2(安否確認)を送信。(保護者回答用フォーム付き)
	主幹教諭 ・保護者からの返信集約。
	防災主任 ・連絡が取れない児童の家庭訪問計画(各学年の担当は通学路安全点検と同じ方面)、避難所訪問計画立案。
	【近隣の避難所】 竹駒神社、岩沼中学校、岩沼北中学校、市民体育センター、岩沼小学校



校舎・校地安全点検・報告	教室・・・担任 特別教室・・・教科主任等
	北校舎・・・1年生、2年生 体育館・・・3年生、4年生 本校舎・・・5年生、6年生 校舎外周・・・特学



通学路安全点検(夜間は実施しない)	学年	担当地区
	1年	1、2地区
	2年	3地区
	3年	4地区
	4年	5、6地区
	5年	7、8地区
	6年	9、10、11地区
	特学	12地区、学区外

※対応処置については市教委へ報告する。

Ⅱ-2 気象災害が想定される場合の対応

(1) 防災気象情報について

警戒レベル	防災気象情報	とるべき行動
5	<ul style="list-style-type: none"> ・大雨特別警報 ・氾濫発生情報 ・キキクル（危険度分布） 「災害切迫」（黒） 	<p>緊急安全確保を発令する判断材料となるレベル。 何らかの災害がすでに発生している可能性が極めて高い状況。 命の危険が迫っているため直ちに身の安全を確保する。</p>
4	<ul style="list-style-type: none"> ・土砂災害警戒情報 ・氾濫危険情報 ・高潮特別警報 ・高潮警報 ・キキクル（危険度分布） 「危険」（紫） 	<p>避難指示を発令する目安となるレベル。</p> <p>自治体からの避難指示発令に留意する。 避難指示発令前に、キキクルや河川水位情報等で自ら避難判断をする。</p>
3	<ul style="list-style-type: none"> ・大雨警報 ・洪水警報 ・氾濫警戒情報 ・高潮注意報 ・キキクル（危険度分布） 「警戒」（赤） 	<p>高齢者等避難を発令する目安となるレベル。</p> <p>自治体からの高齢者等避難発令に留意する。</p> <p>普段の行動を見合わせ始めたり、キキクルや河川水位情報等で避難の準備をしたり自ら避難判断をしたりする。</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> ・氾濫注意情報 ・大雨注意報 ・洪水注意報 ・高潮注意報 ・キキクル（危険度分布） 「注意」（黄） 	<p>避難行動の確認が必要とされるレベル。</p> <p>ハザードマップ等により、災害が想定されている区域、避難先、避難経路を確認する。</p>
1	<ul style="list-style-type: none"> ・早期注意情報 （警報級の可能性） 	<p>最新の防災気象情報に留意するなど、災害への心構えを高める。</p>

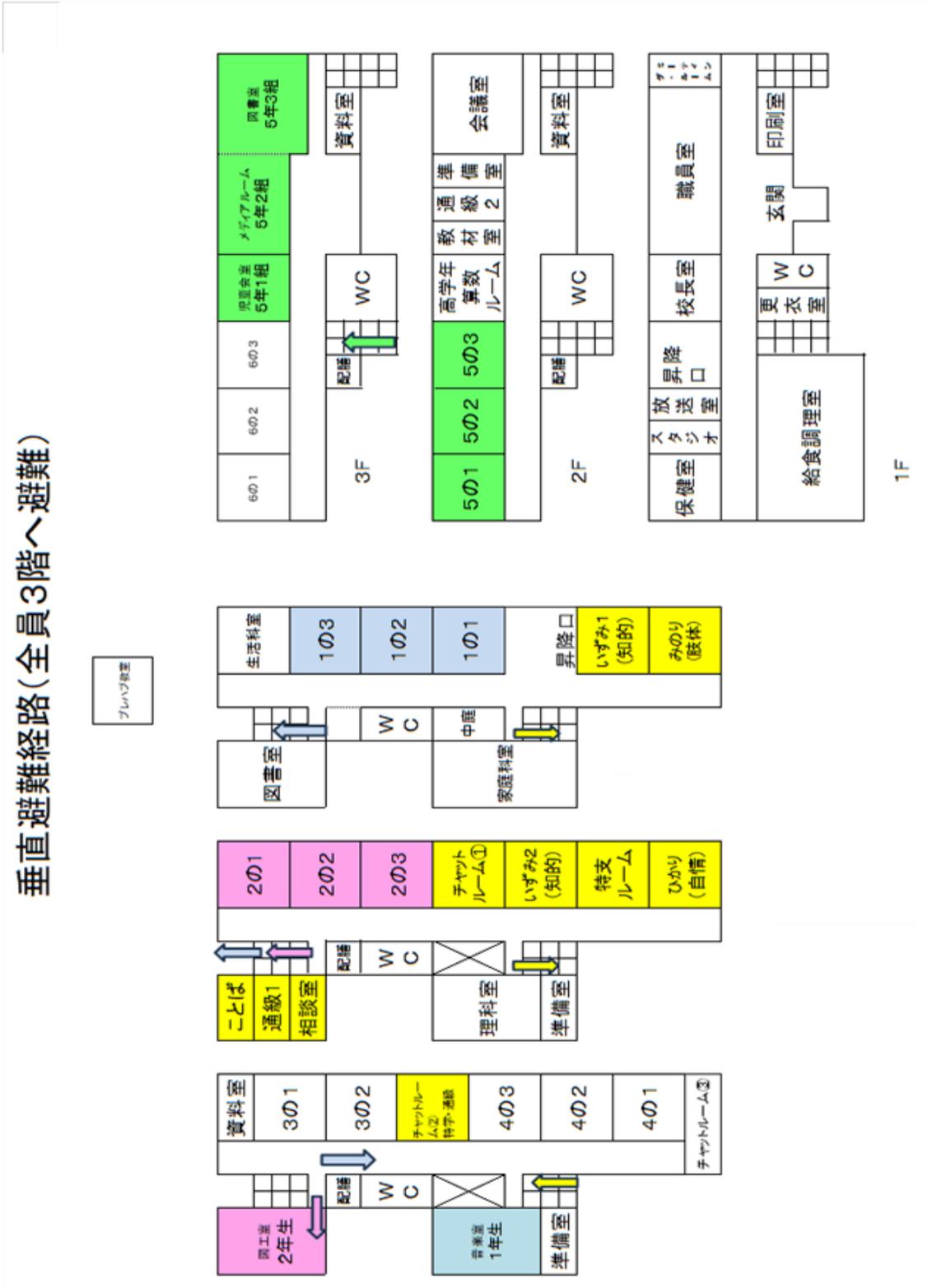
IV-2-2 大雨時の判断基準(在校中)

大雨情報	対 応
大雨注意報	授業切り上げは行わず、一斉下校を検討する。
	警報に切り替わりそうなときは、児童引き渡しを検討する。
大雨警報	授業を切り上げは行わず、児童引き渡しの検討をする
	特別警報に切り替わりそうなときは、児童を下校させず学校待機を検討する。
大雨特別警報	児童の学校留め置きとし、保護者には安全を確保し学校からの連絡を待つよう連絡する。
	大雨特別警報解除まで下校させない。(引き渡さない。)
大雨特別警報解除	保護者引き渡しの検討をする。
大雨警報解除	一斉下校を検討する。

※気象情報だけに頼らず、実際の気象状況に合わせて対応を決定する。

河川氾濫情報	洪水予報	水位の名称等	内閣府避難情報	対 応
阿武隈川氾濫注意情報	洪水注意報	氾濫注意水位		【登校前】 ・始業時刻変更、臨時休校 【児童在校中】 ・授業切り上げ ・保護者へ引き渡し ・児童クラブの児童は下校させず、学校留め置き。
阿武隈川氾濫警戒情報	洪水警報	避難判断水位	高齢者等避難	
阿武隈川氾濫危険情報		氾濫危険水位	避難指示	
阿武隈川氾濫発生情報		氾濫の発生	緊急安全確保	

(4) 垂直避難経路



垂直避難場所

北校舎

1年生 音楽室

2年生 図工室

特学・通級 3階チャット

本校舎

5年1組 児童会室

5年2組 メディアルーム

5年3組 ふむふむ図書室

Ⅱ－3 竜巻が想定される場合の対応

(3) 竜巻注意情報発表時の対応

竜巻注意情報発表

教頭

- ・職員へ指示する。
- ・校内放送を行う。

対応班

- ・校舎の全ての入口、窓の戸締まりを確認する。
- ・本校舎:主幹、北校舎:防災主任
周囲の空の様子を観察し、職員室に報告する。

担任、支援員、指導助手

- ・児童を保護する。

事務長

気象情報を集める。

授業中

校内放送

「ただ今、竜巻注意情報が発表されています。教室や廊下の窓を閉め、カーテンを閉じて待機して下さい。外で体育をしている学級はすぐに教室に戻して下さい。」

休み時間、登下校中

校内放送

「ただ今、竜巻注意情報が発表されています。児童のみなさんはあわてず教室に入り、先生の指示に従いましょう。」

竜巻接近の恐れあり

職員も身を守る行動をとる。

校内放送

「ただ今、学校に竜巻が接近しています。担任は教室の窓をしめ、カーテンを閉じて下さい。児童のみなさんは、窓から離れて、身を守る姿勢をとりなさい。」

竜巻接近の前兆

- ・空が急に暗くなる。
- ・大粒の雨が降り出す。
- ・雷鳴が聞こえる。

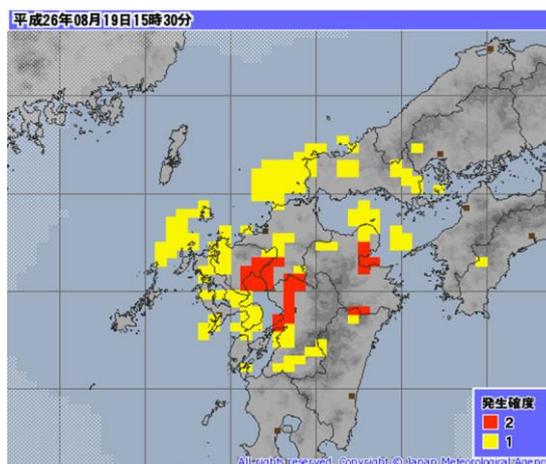
竜巻による気象現象

- ・急な大雨、雷、ひょう

竜巻発生情報

気象庁「竜巻発生確度ナウキャスト」

「竜巻発生確度ナウキャスト」の発表例



Ⅱ-4 火山災害が想定される場合の対応

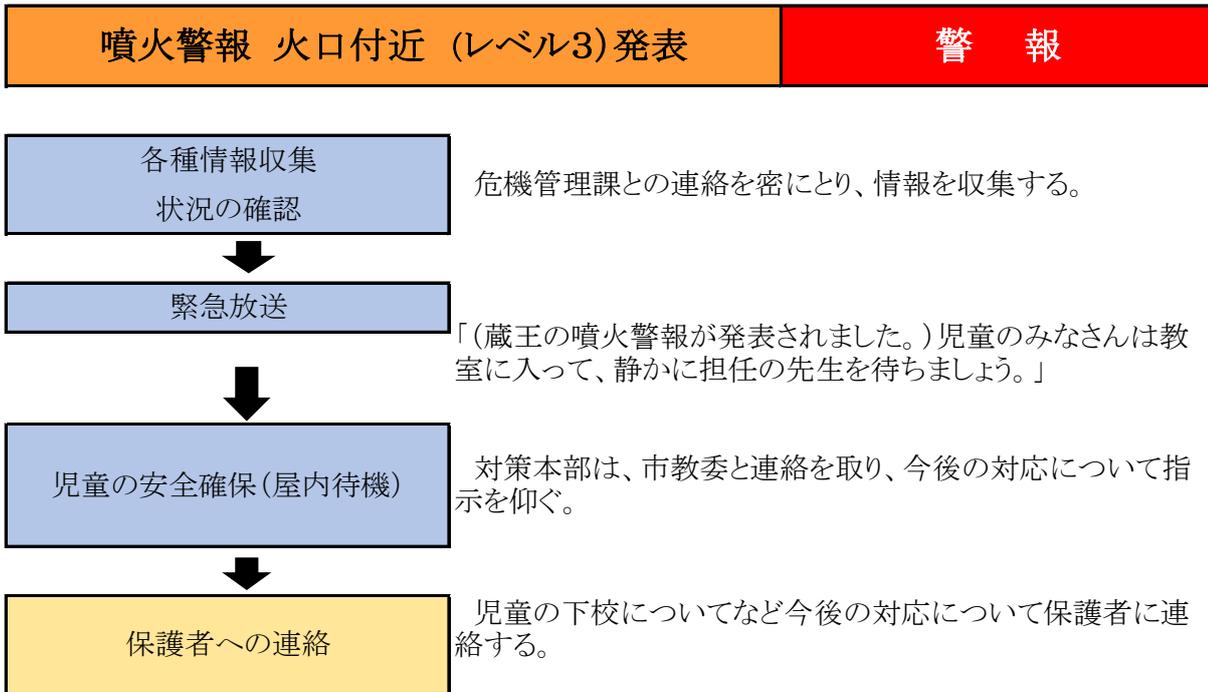
(1) 蔵王山の噴火警戒レベルと対応

種別	名称	レベル	火山活動の状況	想定される現象等	対応
特別警報	噴火警報 居住地	5 避難	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生、あるいは切迫している状態にある。	◆融雪型火山泥流または御釜由来の泥流が発生、あるいは切迫している。 ◆噴火の規模や位置が特定できない噴火が発生し、融雪型火山泥流または御釜由来の泥流が発生、あるいは切迫している。	(児童登校前) 臨時休業を検討する。 (在校中) 引き渡し、学校留め置きを検討する。
		4 避難準備	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生すると予想される。(可能性が高まっている。)	◆融雪型火山泥流または御釜由来の泥流を伴う噴火が予想される。	
警報	噴火警報 噴火口付近	3 入山規制	居住地域の近くまで重大な影響を及ぼす(この範囲では生命に危険が及ぶ)噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	◆火口周辺の広い範囲に影響を及ぼす噴火が予想される。 ◆融雪型火山泥流及び御釜由来の泥流が予想されない噴火の発生。	(児童登校前) 臨時休業、始業遅らせを検討する。 (在校中) 引き渡し、一斉を検討する。
		2 火口周辺規制	火口周辺に影響を及ぼす(この範囲では生命に危険が及ぶ)噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	◆火口周辺に影響を及ぼす噴火の発生が予想される。	
予報	噴火予報	1	火山活動は静穏	◆火口内で少量の噴気や火山ガスが発生。	

蔵王山御釜から蔵王自然の家までの距離 約8km
 蔵王自然の家付近の降灰予想 1cm～10cm(西風の場合)
 融雪型火山泥流経路予測 → 澄川、松川

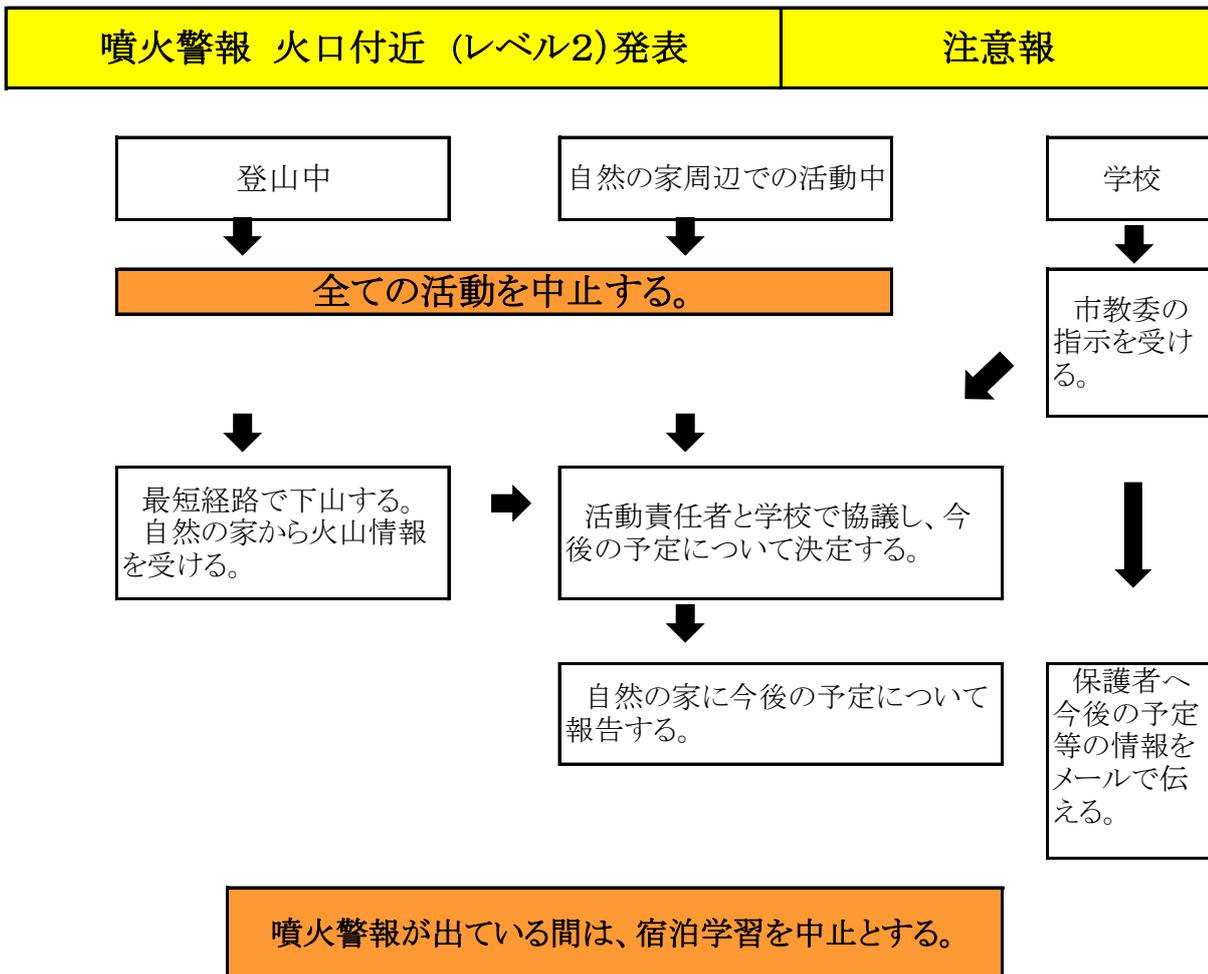
(2) 児童在校時の対応

気象警報のレベルでは



(3) 蔵王宿泊学習中に噴火警報発表

気象警報のレベルでは



Ⅲ－1 災害発生後の対応

(1) 児童在校中の対応と判断基準

【保護者引き渡し】

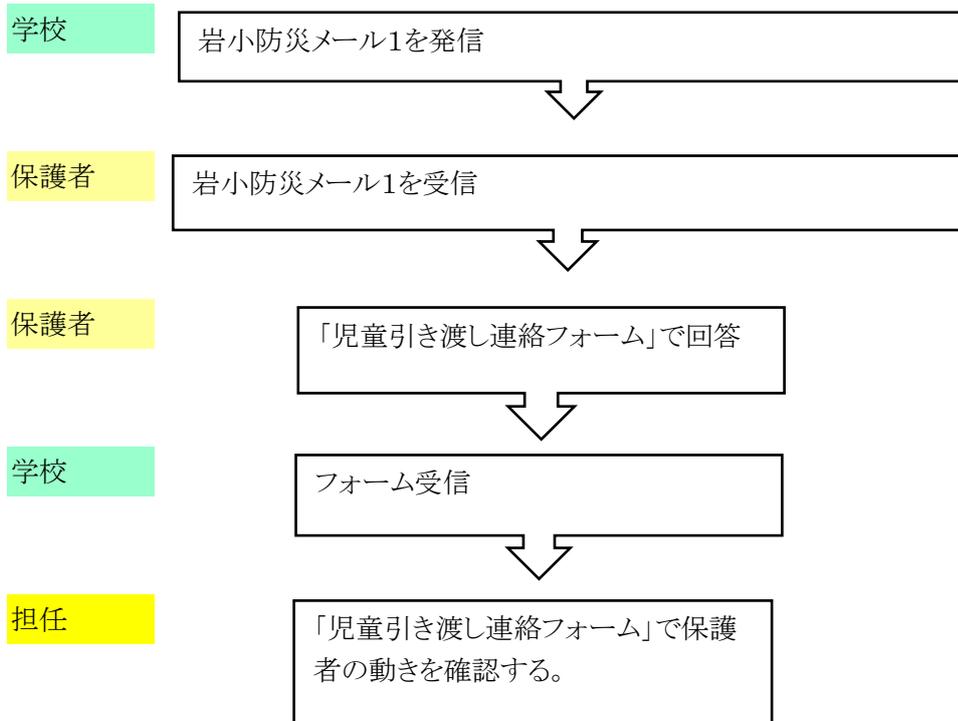
- ・震度5弱以上の地震発生。
- ・大雨警報発表。または大雨注意報が警報へ移行する恐れがある気象状況の時。
- ・その他(校長が保護者引き渡しの必要があると判断したとき。)

【学校留め置き】

- ① 保護者引き渡しの連絡後、保護者がすぐに迎えに来られない場合。(保護者からの要望があっても、児童だけで下校させない。)
- ② 大津波警報発表後、解除されるまで。
- ③ 大雨特別警報発表後、解除されるまで。
- ④ 阿武隈川氾濫情報発表後、解除されるまで。
- ⑤ その他 校長が必要と認めたとき。

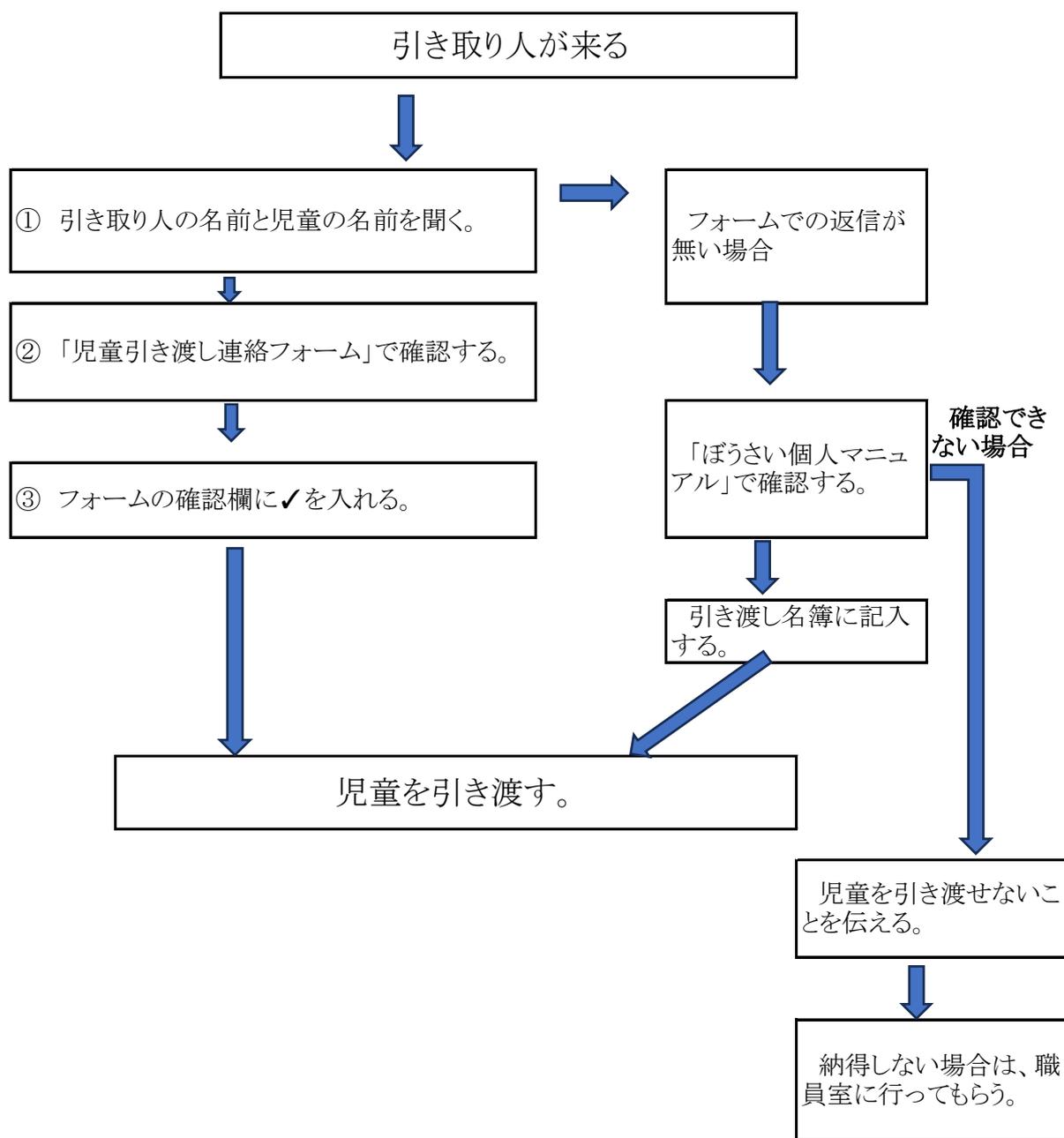
(2) 保護者への引き渡し

① 保護者へ児童引き渡しの連絡



防災メールの例文は、共有R6→防災主任→岩小防災メールのフォルダ内にある。

②引き渡しのフローチャート



Ⅲ－２ 学校再開に向けた対応

- (1) 児童安否確認
 「岩小防災メール2(安否確認)送信
 (フォームでの返信内容) ・児童の安否確認
 ・児童の現在地
 ・児童の家族の状況
 ・学校への連絡事項

- (2) 校舎の点検
 ・業者による校舎の構造部材の点検
 ・校地内の危険箇所の立ち入り禁止処置
 ・ライフラインの復旧確認
 ・理科準備室薬品庫の薬品点検
 ・校舎内外の清掃

- (3) 通学路の安全点検
 ・通学路を歩いて点検、記録し、改修が必要な箇所は市役所に連絡する。

学年	担当地区	住所
1年	1, 2地区	中央1丁目、2丁目、大手町、二木1丁目、2丁目、稲荷町、本町
2年	3地区	桜1丁目、2丁目、3丁目
3年	4地区	中央3丁目、桜4丁目、5丁目
4年	5, 6地区	館下1丁目、2丁目、3丁目、末広2丁目、下野郷
5年	7, 8地区	堀内字南、梅、南竹、相の原団地
6年	9, 10, 11地区	相の原1丁目、2丁目、中央4丁目、市営亀塚住宅、県営亀塚住宅
特学	12地区	梶橋、字梶橋

- (4) 教育環境の整備
- | | |
|----------------|---------------------------|
| ①授業形態の工夫と教員の配置 | 【主幹教諭】 |
| ②教科書損失状況の確認と発注 | 【教科書担当】 |
| ③支援物資の取りまとめ | 【防災主任】 |
| ④文科省ポータルサイトの活用 | 【研究主任】 |
| ⑤心のケア | 【心のケア担当、養護教諭, スクールカウンセラー】 |
| ⑥マスコミ、ボランティア対応 | 【教頭】 |

- (5) 避難所との共存
- ①避難所運営組織と学校との協議
 ・避難者の立入制限・校庭の分割使用
 - ②立入禁止制限区域の明示
 - ③避難者駐車場の縄張り

- (6) 給食業務再開
 教育委員会との調整

IV資料

保護者への周知事項

1 お子さんが学校にいるときに災害が発生した場合

【保護者引き渡し】

- ・震度5弱以上の地震発生。
- ・大雨警報発表。または大雨注意報が警報へ移行する恐れがある気象状況の時。
- ・その他(校長が保護者引き渡しの必要があると判断したとき。)

引き渡し手順4

(1) 「岩小防災メール1」に添付の「児童引き渡しフォーム」に回答いただきます。その中の、「児童を引き取りに来る方(※連絡訓練後に新設)」の欄に学校にお迎えに来る方の氏名を入力して下さい。

(2) 学年の上のお子さんからお迎えをお願いします。

(3) 担任にお子さんの名前とお迎えにきた方の名前を伝えて下さい。

- ①お子さんの名前を伝える。
- ②お迎えに来た方の名前を伝える。
- ③担任が返信されたフォームで確認してから引き渡します。

※ 「児童引き渡しフォーム」での回答がない場合は、「ぼうさい個人マニュアル」で確認しますので、多少時間がかかります。

【学校留め置き】 児童を学校で保護します。

- ・ 保護者がすぐに迎えに来られない場合。(保護者からの要望があっても、お子さんだけで下校させることはできません。)
- ・ 大津波警報発表後、解除されるまで。
- ・ 大雨特別警報発表後、解除されるまで。
- ・ 阿武隈川氾濫情報発表後、解除されるまで。
- ・ その他 校長が必要と認めたとき。

※ ②～④は大変危険な状況です。このような災害時は、児童は本校の3階に避難します。また、状況によっては学校外の避難場所である名取高校まで徒歩で避難します。保護者の皆さんも安全な場所に避難し、学校からの連絡を待つようお願いいたします。

2 登下校中に災害が発生した場合

教職員が担当の地区の通学路を歩き、お子さんの安全確保を行います。その際、「ぼうさい個人マニュアル」記入の避難場所を回りますので、お子さんと通学路にある避難場所の確認をしておいて下さい。

※ 「ぼうさい個人マニュアル」には震度6以上、大津波警報発表のときに避難するように記載していますが、児はこれまでに経験したことがない大きな地震を感じたら震度や津波情報の確認なしでも避難するよう伝えていま

3 お子さんが家庭にいるとき等、児童の学校管理下外に災害が発生した場合。

次の順番で行います。

	方法	内容
1	安否確認フォーム	学校から「岩小防災メール2(安否確認)」を送信します。添付の「安否確認フォーム」でお子さんの情報を学校にお知らせ下さい。
2	電話	担任が自宅や保護者の携帯電話にかけます。
3	家庭訪問	本校職員が担当の地区の御家庭を訪問します。
4	避難所訪問	本校職員が担当の避難所を訪問します。

4 「岩小防災メール」について

今年度から災害発生時などの保護者との連絡方法として、「岩小防災メール」を使います。昨年度までのもの違い、保護者からの返信も受けることができるようにしました。返信方法は、「岩小防災メール」内のアイコンをタップしていただくと、フォームに切り替わります。その後の操作は、「欠席連絡フォーム」と同じです。入力いただくだけで担任が確認することができます。また、記述欄もありますので、担任等に伝えたいことを記入していただけます。また、保護者の皆さんにこの「岩小防災メール」の使い方を理解していただき、フォームの内容を検討するための「岩小防災メール連絡訓練」を実施いたします。御理解と御協力をお願いいたします。

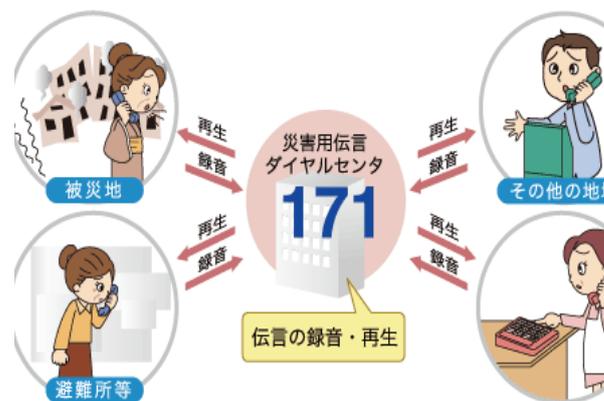
5 その他

「災害用伝言ダイヤル」について

災害用伝言ダイヤルの設置主旨

家族や知人との間での安否の確認や避難場所の連絡等をスムーズに行うため、固定電話・携帯電話・インターネットによって、「災害用伝言サービス」を提供しています。(総務省ホームページより)

以上の設置主旨に沿い、学校での活用は控えることにしました。御家族どうしでの安否確認方法として、是非御検討下さい。また、「災害用伝言ダイヤル」の体験も可能ということです。詳しくはNTT東日本のホームページ(災害用伝言ダイヤル)で御確認下さい。





こ
こ

小に
撞に
す。

とは
プし
で、
丘日
り、



令和6年6月3日

保護者各位

岩沼市立岩沼小学校
校長 樋川 研吾

「岩小防災メール」による連絡訓練について(お願い)

入梅の候、保護者の皆様におかれましてはますます御健勝のこととお喜び申し上げます。
さて、令和6年5月27日付「災害発生時の対応と安否確認について」でお知らせしたとおり、本校では大きな災害が発生した場合に備え、「岩小防災メール」を導入することとしました。災害が発生した場合等には、本メールで学校から連絡を送信し、添付のフォームで保護者の皆様に返信していただくものとなっています。保護者の皆さんにこの「岩小防災メール」の使い方を理解していただき、また学校としてもフォームの内容を検討するために、「岩小防災メール連絡訓練」を実施したいと思います。

保護者の皆様の御理解と御協力をお願いいたします。

(1) 「岩小防災メール」導入の経緯(メリット)

- ・昨年度までの一方的なメールを反省して、保護者からの連絡等を受ける事ができるようになりました。
(例)学校「児童引き渡しを行いますので、迎えに来て下さい。」
→保護者「すぐには迎えに行けません。○時頃に行きます。」→学校
- ・保護者からの返信にフォームを使うことで学級ごとに返信内容を整理でき、確認作業が短時間になります。
- ・担任が教室にいても保護者からの連絡を確認することができます。

(2) 「岩小防災メール」連絡訓練の目的

- ・保護者の皆様に「岩小防災メール」での連絡方法を理解していただき、災害に備えるため。
- ・学校で保護者からの返信の集計方法を確かめ、改善し、災害に備えるため。

(3) 訓練実施日

「岩小防災メール1(児童引き渡し)」連絡訓練

期間:令和6年6月6日(木)～6月12日(水)

学校からのメール送信日:令和6年6月6日(木)

※実際に児童引き渡しは行いません。

「岩小防災メール2(安否確認)」連絡訓練

期間:令和6年6月13日(木)～6月19日(水)

学校からのメール送信日:令和6年6月13日(木)

※返信は急ぎませんので、訓練期間中のお時間のあるときをお願いします。

担当 岩沼市立岩沼小学校
電話 0223-22-2145
防災主任 高橋 謙二

岩沼小学校通学路

